

令和8年度 美術部 東ブロック大会報告

北海道恵庭南高等学校

5月19日(火)高文連美術専門部石狩支部東ブロックの研修大会が北海道立近代美術館を会場に行われました。ブロック大会は石狩支部を東西南北の4ブロックに分け、それぞれのブロックで美術についての研修を深める大会です。東ブロックからはおよそ250名の美術部員が参加しました。



午前中に行われた研修①では札幌国際芸術祭ディレクター漆崇博さんによる講演が行われ、札幌国際芸術祭についての話と現代芸術をどう鑑賞したらいいかを聞くことができました。

その後企画展「ポケモン×工芸展」を鑑賞しました。高校生世代になじみの深い「ポケモン」と伝統の「工芸」のコラボは新鮮な驚きだったようです。陶芸やガラス、螺鈿や染色の多分野にわたって「ポケモン」が生き生きと表現され、「みごたえある～」とは生徒の感想です。



午後からは研修②として道立近代美術館学芸員 河本真夕さんによる講演「西洋近代美術のみかた」がありました。特に「ヌード」についてギリシャ・ローマから始まりルネサンス、近代に渡るまでどう扱われてきたかの話は興味深いものでした。

最後に常設展「描かれた女性たち エコールドパリの時代を中心に」を鑑賞しました。とくにパスキンの滲んだような色彩と自由な線の表現は印象に残りました。

これから高文連の支部大会に向けた作品制作が始まりますが、その前に刺激となる充実した大会でした。当番校の北広島高校の皆さんありがとうございました。

